

【参考資料①】令和6年度以降の中堅教諭等資質向上研修について

<目的> 学校全体を見渡す広い視野をもち、学校運営に参画する中堅教諭（ミドルリーダー）として必要な資質向上を目指す

背景

- ・研修履歴の記録と対話による指導助言等の仕組みの制度化による「新たな教職員の学び」の実現と充実が求められている。
- ・中堅教諭等資質向上研修に該当する教諭は、教育に関し相当の経験を有し、その教育活動その他の学校運営の円滑かつ効果的な実施において中核的な役割を果たすことが期待されている。本県では、勤務実績3年以上の者を中堅教諭等資質向上研修の対象としてきたが、教育に関し相当の経験を有するとは言い難く、学校運営において中核的な役割を果たすためにも対象者の見直しを図ることが必要。
- ・「令和の日本型学校教育」の実現に向けた「新たな教師の学び」を実施するためには、「研修観」を捉え直すことが求められている。

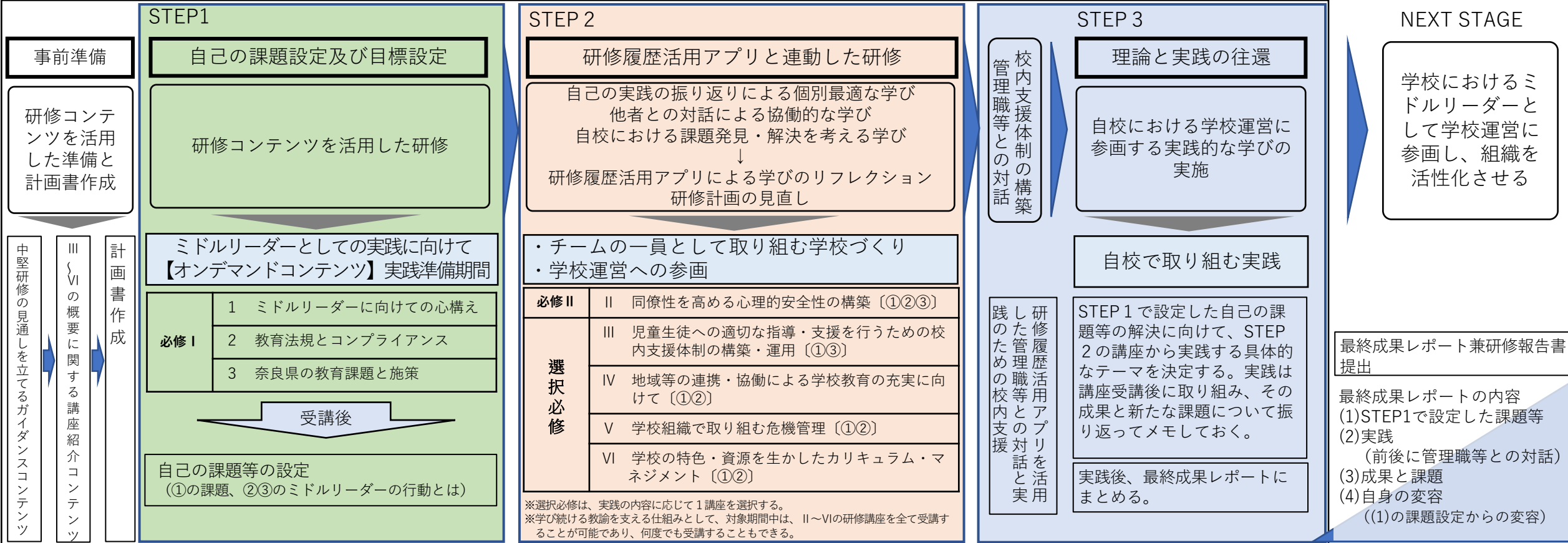
目標

- 目指す姿：① 学校全体の視点から、自分が取り組むべき課題を明確にし、実現に向けて解決することができる。
 ② 教育目標の実現に向けて積極的に関与し、意見することができる。
 ③ 同僚性を高め、管理職や同僚教職員とともに、学校の組織を活性化することができる。

対象

勤務実績8年～10年の教諭

身に付ける資質・能力の明確化：①課題を発見する力・課題を解決する力（自己の課題・学校組織としての課題）、②企画立案する力、③若手教職員のモデルとなり、組織の一員として行動する力



【参考資料②】 令和6年度以降の中堅教諭等資質向上研修について

